

寅さん歩 その15

江戸・東京(23区)の百名山-3

平野 武宏



深田久弥提唱の「日本百名山」は山男や山ガールが入門書や目標として、昔の友人もはまっていたが、山の上があまり好きでない寅次郎は興味を示さず、ウォーキングの世界に入りました。最近、NHKBS放映「グレートトラバース-2」で「日本百名山」踏破後、「日本二百名山」を一筆書きで、交通機関を使わず、すべての行程を自分の足のみで踏破しているプロアドベンチャーレーサーの姿を知りました。4年前に東京に移り住み、都内を歩き回っている寅次郎、図書館で「江戸・東京百名山に行く(手島宗太郎著)」を見つけ、アイディアをいただきました。国民の祝日「山の日」実施記念として全踏破に挑戦したい気持ちになりました。

筆者手島氏の決めた「百名山」は今は現存しない山や築山・富士塚も含まれますが、最高峰は新宿区44.6mの箱根山と知り、自分の足だけなどと言わずに、東京都シルバーパスも活用し、楽しみながら、踏破する新シリーズとします。位置関係が分かるように、数の多い23区順に紹介します。二番目に多いのは港区と文京区で各10山です。港区の5山から踏破します。

数字は踏破した数の累計です。最寄り駅は代表例で、都営線はシルバーパス利用可です。

[港区-1]

15. 愛宕山

愛宕山1丁目・2丁目 最寄駅 都営三田線 御成門駅

講談「出世の石段」で知られる「愛宕山」の上り口は正面の86段、傾斜約40度の石段(男坂)とその脇の女坂(写真下左)、山頂裏側の神谷町からの階段と車道、(写真下右)、そしてトンネル手前から上がるエレベーターと脇の階段があります。

標高25.7m、自然に形成された山では都内最高峰です。雪月花の名所、風情を楽しむ「江戸一番の展望台」だったとのこと。

勝海舟は西郷隆盛を山頂に連れてきて江戸の町並を見せ、ここを戦火にさらすことを憂い、西郷に同意させたと言われる場所です。



写真上左は山の下をくりぬいた「愛宕隧道」手前左がエレベーター乗り場入口です。山頂には家康が江戸防火の守護神として勧請した「愛宕神社」（写真上右）、大正 14 年(1925 年)ラジオ本放送開始の跡地に「NHK 放送博物館」があります。

寅さん歩 その 10 健康ご利益めぐり-14 港区およびその 11 江戸・東京の祭-38 江戸らしい祭-19 を参照ください。

16. 含海山

愛宕山 2 丁目 最寄駅 都営三田線 御成門駅

愛宕山隣の名刹 青松寺（写真下左）の裏山にあたり、愛宕山とはつながっていたとのこと。「芝の海を飲み込む」と

言う命名だそうです。青松寺は大田道灌が開祖の古刹です。
写真下右は青松寺裏山に向かう上り口です。



17. 赤根山

元赤坂2 迎賓館内 最寄駅 JR四ツ谷駅

紀伊徳川家の中屋敷は赤坂離宮となり、現在は迎賓館赤坂離宮、東宮御所（赤坂御所）、秋篠宮邸、秩父宮邸、三笠宮邸のある広大な場所で、下屋敷は今の迎賓館本館の辺りにあったそうです。

江戸名所図会に「茜を産するので茜山と呼んだ。赤根山の坂なので赤坂と号した」と記載があるとのこと。

学習院初等科正門側の迎賓館西門から入った場所辺りが（写真下左右）「赤根山」ではと推定しました。



18. 三井山

六本木2丁目1 アメリカ大使館宿舎辺り
最寄駅 都営大江戸線 六本木駅

檜町公園から赤坂氷川神社方面に向かう坂の手前にあるアメリカ大使館宿舎辺り（写真下左）が「三井山」だそうです。三井家の屋敷があったことから「三井山」と呼ばれたとのこと。写真下右を見ると大使館宿舎の敷地内は上りの階段が見え、かなりの高台だとわかります。



19. 大山

海岸1丁目 旧芝離宮恩賜庭園内

最寄駅 JR 浜松町駅/都営大江戸線 大門駅

明暦（1655～1658年）の頃に海を埋め立て、延宝6年（1678年）老中小田原藩主大久保忠朝の邸地となり、上屋敷を建てる際に小田原から庭師を呼び寄せ、作庭し「楽壽園」と命名。その後、数人を経て幕末には紀州徳川家の芝屋敷、明治4年（1871年）有栖川宮家の所有になりました。明治8年（1875年）宮内省がこれを買上げ、翌年、「芝離宮」になりました。大正13年（1923年）昭和天皇のご成婚記念として東京都に下賜され、「旧芝離宮恩賜庭園」として一般公開されました。公園内（写真下左）右奥にある「大山」（写真下右）はこんもりした木の前の築山で人が立っています。





大山の上り口（写真上左）と山頂からの眺め（写真上右）
です。池泉を中心とした回遊式庭園でその地割と石組は秀逸。昭和54年(1979年)国の名勝に指定されています。
寅さん歩 その12 東京の紅葉・黄葉も参照ください。

【こぼれ話】迎賓館 赤坂離宮

以前は一般公開が短い一部期間で抽選での当選は大変でしたが、平成28年(2016年)4月19日から、一般公開は通年となりました。但し、事前申し込み・抽選は変わりません。HPで確認してください。前庭のみは事前申し込み不要です。

平成28年(2016年)8月4日～30日(水曜日は休み)は夏休み特別企画で本館・主庭は事前申し込み不要と知り、寅次郎、「赤根山」の確認も兼ねて、念願だった迎賓館の見学(有料1,000円)が出来ました。本館内は撮影禁止でした。写真下左は外から見る正門、写真下右は前庭から見た本館です。



紀州徳川家の江戸中屋敷だった広大な敷地の一部に、明治42年（1909年）東宮御所（後に赤坂離宮となる）として当時の総力を挙げて建設された日本における唯一の「ネオ・バロック様式の西洋風宮殿建築」です。

昭和天皇や今上天皇が一時期お住まいになった以外は、東宮御所としてあまり使用されることなく、戦後、皇室から行政に移管されました。

「国の迎賓施設」として改修、昭和49年（1974年）完成、華やかな外交の舞台としてなっています。更なる大改修工事を行い、平成21年（2009年）迎賓施設としての運用を再開。創建当時の建造物である旧東宮御所（迎賓館赤坂離宮）、本館、正門、主庭噴水池等が国宝に指定されました。

やはり外からは見られない、本館と主庭は素晴らしい眺めでした。



次回は江戸・東京（23区）の百名山-4です。

平野 寅次郎 拝